



日本住を快適空間!

ダンネット通信

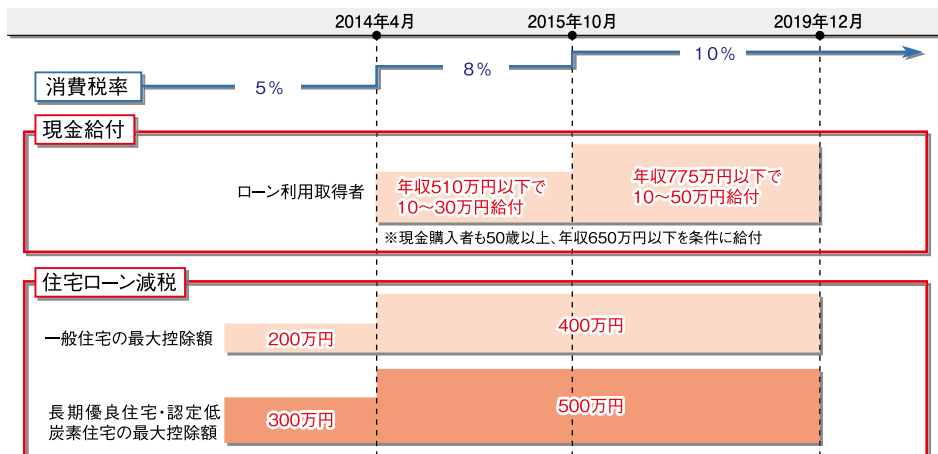
2013.Summer vol.81

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

ローン減税+現金給付で消費税負担を軽減

来年4月予定の消費税増税にともなう住宅取得の負担軽減策として、政府与党の自民・公明両党は延長・拡充する住宅ローン減税の恩恵を十分に受けられない取得者を対象とした現金給付措置の内容を明らかにしました。エンドユーザーにとってはどれだけ増税負担が減るのか、大いに気になるところでしょう。



住宅取得者に対する消費税増税時の負担軽減策

年収510万円以下で10~30万円

消費税増税にともなう住宅取得時の負担軽減措置として、国ではローン残高の1%を最大10年間にわたり所得税等から控除する住宅ローン減税を延長・拡充しましたが、納税額が少ない低所得者層は減税額を所得税等から控除し切れず、効果が薄いのも事実。そこで低所得者層向けの追加負担軽減策として実施するのが現金給付です。

具体的には来年4月以降、ローンを利用して床面積50㎡以上の新築・中古住宅を取得する場合、年収425万円以下で30万円、同425万超475万円以下で20万円、475万超510万円以下

で10万円を給付。また、2015年10月に消費税率が10%になる時には、年収条件を775万円以下まで拡充したうえで、給付額も最大50万円(年収450万円以下の場合)に増額されます。

さらに現金取得者にも、50歳以上、年収650万円以下を条件にローン利用者と同額の現金給付を行う予定で、省エネ性能に優れていることなど住宅に一定の要件も設けられます。

民間シンクタンクのシミュレーションでは、年収700~800万円以上でなければローン減税のメリットは期待できませんでしたが、現金給付によって特に年収425万円以下の取得者層は、増税分を上回る恩恵も期待できそうです。

45分の準耐火構造試験クリア

～『DAN壁』を準防火地域の木造3階建てで使えるよう国に申請へ～

(株)ダンネットでは、東邦レオ(株)と合同で外断熱外装材「DAN壁」(だんべき)の45分準耐火構造試験を(一財)ベターリビングで実施し、合格しました。今後、評価書が交付され次第、国土交通省に準耐火構造認定の申請を行う予定で、認定が下り次第「DAN壁」を準防火地域の木造3階建てなどにも採用することが可能になります。

壁体構成変更し耐火性能を強化

湿式仕上げ用の補強下地層が工場施工されているEPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム)パネルの「DAN壁」は、これまでI地域の次世代省エネ基準をクリアする120厚と、Ⅲ・Ⅳ地域の同基準をクリアする70mm厚で30分の防火構造試験に合格し、昨年1月に国土交通大臣の認定を取得。準防火地域で2階建てまでの木造住宅に採用することができるようになり、次世代省エネ基準を上回る断熱性能が要求される場合には、軸間にグラスウールを充填断熱した付加断熱仕様でも30分の防火性能を有することが認められています。

今回は、高断熱化と同時に高耐久で多彩なテク

スチャーの湿式外装仕上げを実現できるというメリットを、準防火地域の木造3階建て住宅にも活かすことができるよう、準耐火建築物に該当する45分の準耐火構造試験を実施。30分の防火構造試験では、断熱厚が70mmの試験体と120mmの試験体を製作し、それぞれ室内側から石膏ボード12.5mm、在来軸組(105mm角)、ダイライト9mm、EPS70mmまたは120mm、ベースコート(グラスファイバーメッシュ伏せ込み)、トップコートという構成になっていましたが、45分の準耐火構造試験では断熱厚を70mmとして軸間にもグラスウールを充填。さらに、天然の粘土鉱物であるバーミュキライトを主成分とし、優れた防火性能を持つ耐力面材・モイスTMをダイライト9mmに替えて使用。室内側の石膏ボードは9.5mmと



外壁面(トップコート側)から火を当て続け45分経過した後の「DAN壁」試験体。手前に見えるのが室内側の石膏ボード



複数のバーナーから火を当てて、試験体を燃焼させているところ



45分間の試験が終わった後の試験体外壁面

12.5mmの2層貼りで、住宅金融支援機構の省令準耐火構造と同じにしました。

より多くの木造住宅で採用可能に

試験体は全部で4つ作り、加熱炉で2体ずつトップコート側からと、室内の石膏ボード側から火を当てて加熱したところ、いずれも試験体の収縮量や収縮速度、裏面温度上昇、燃え抜けなど建築基準法に規定されている防火性能の判定基準をクリア。45分の準耐火構造と認められる防火性能を有することが確認されました。

試験結果に基づいた評価書が交付された後に、国土交通省へ大臣認定の申請を行う予定で、大臣認定が取得できれば準防火地域の狭小地に建設する木造3階建て住宅でも、高断熱化とともにオンリーワンの湿式外装仕上げを提案することができるようになります。

ダンネットでは今後も容易な施工で高断熱化とオンリーワンの意匠を提案できる「DAN壁」を、ハウスメーカー様・工務店様により多く使って頂けるよう、これからも様々な取り組みを進めていきます。

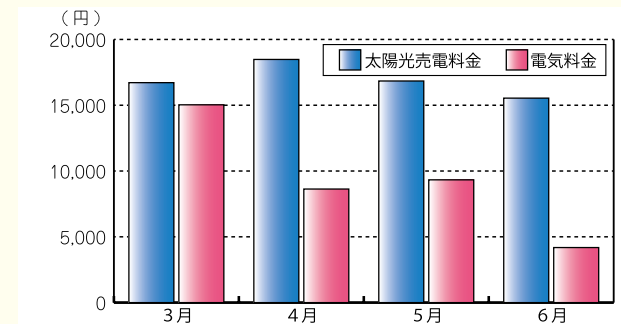
「DAN壁」採用の釧路ゼロエネ住宅

電気代上回る売電収入を継続中

前号の『ダンネット通信』でお伝えした「DAN壁」採用の釧路ゼロエネハウス完成から半年。実際にどの程度の省エネ効果と光熱費削減効果があるのか、オーナーの協力を得て電力使用量と電気代を調べたところ、入居後の3月から6月までの各月いずれも太陽光発電の発電量が電力使用量を上回り、ひと月あたり7,600円のプラス収支となっていることがわかりました。



「DAN壁」を採用した釧路ゼロエネハウスの外観



今年3月から6月までの太陽光発電売電料金と電気料金

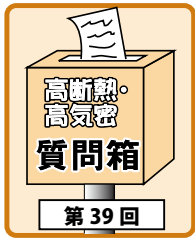
釧路ゼロエネハウスは155mm厚のDAN壁を採用するなど、断熱性能をQ値0.89Wと大幅に高めたうえで、5.08kWの太陽光発電システムや地中熱ヒートポンプ暖房、エコキュートといった創エネ・高効率設備を導入。太陽光発電の発電量が住宅全体の電力使用量を上回るネット・ゼロ・エネルギー・ハウスとして、経済産業省の補助を受けて建設されました。

暖冷房・給湯・料理いずれも電気熱源のオール電化住宅で、ご夫婦と1歳のお子さんの3人家族で居住。電力使用状況を見ると、まだ暖房がフル稼働している3月は電力使用量が1kWh弱で電気代も約1万5,000円かかっ

ていますが、太陽光発電の売電量は400kWh弱で売電金額が約1万6,700円。差し引き1,600円ほど利益を得たことになりました。

4～5月も太陽光発電の発電量は400kWh以上を維持し、暖房の電力使用量も減ってきたことで利益も9,800円、7,500円と増加。6月は天候に恵まれず発電量は400kWhを切りましたが、電力使用量が少なくなったこともあって、1万円を上回る利益が出ています。

このままいけば試算通り、太陽光発電の年間売電額が20万円を超え、ネット・ゼロ・エネルギーはもちろん、ネット・プラス・エネルギーも実現しそうです。



超高断熱化した外壁の窓の位置は？

Q…北海道では外壁 300～400 mm断熱の住宅も施工されていると聞きますが、その場合、窓は屋外側と室内側のどちらに付けるのでしょうか？

A…北海道での外壁断熱厚は 100 mmから 150 mmが主流ですが、高断熱化の意識が高い住宅会社の物件では 200 mmや 300 mm、そして 400 mmでの断熱施工も目にするようになりました。そしてご質問にあるように、外壁の断熱を厚手化した場合に、「窓はどの位置に付けるのか」が、たびたび議論になります。

仮に軸間充填 100 mm＋外側付加 200 mmの 300 mm断熱を例にしますと、一般的に使われている外付けのサッシを通常の住宅と同じように外壁屋外側に取り付ける場合、日射熱取得には有利ですが、出窓のようになるため、窓の室内側が空気溜まりになって結露する可能性が出てきます。

逆に外壁の室内側に窓を付けるのであれば、日射取得面では不利になり、窓下の水切などの板金



窓を室内側に取り付けた外壁 400 mm断熱の住宅。窓が奥まって見えることでRC住宅のような表情になる

処理で手間とコストがかかるものの、結露の心配は少なくなり、重量がある高性能な木製窓やトリプルガラスサッシも構造躯体にしっかり取り付けることができます。また、外から見ると窓が引込んで入っているので、RC住宅のような表情が出せるという意匠面でのメリットもあります。

実際には外壁 300 mm断熱で、屋外側に窓を付けて結露しなかった例もありますが、やはり結露が心配になることと、窓は構造躯体にしっかり固定したいとの考えから、北海道では外壁中心よりも室内側に窓を付けるケースが多いようです。

●編集●後●記●

♣早くも1年の半分が終わってしまいましたが、住宅着工は依然として全国どこも好調な様子。お忙しい中で断熱に関する困ったこと、悩んでいることがありましたら、ぜひひと声かけて下さい。全力でサポートいたします。(野村)

♣消費税増税まであと8ヵ月ほど。欲しい物は今のうちに買うかどうかで大いに悩むところです。住宅も来年度の取得負担軽減策が明るみになったことで、いよいよ建て時が難しくなった方もいるのではないのでしょうか。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netsu.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netsu.co.jp

『快適な住まいづくり』はお任せ下さい！

- フローリング工事各種
- 外断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒263-0003 千葉県千葉市稲毛区小堀町116-1	TEL(043)308-5176 FAX(043)308-5178
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町字西割4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■仙台事務所	〒983-0037 宮城県仙台市宮城野区平成2-18-38	TEL(090)1378-5494 FAX(048)783-1667
■ダンネツ信州	〒399-0034 長野県松本市野溝東1-17-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016